

ボランティアセンター開設

“あなたも一緒に活動してみませんか!!”

現在、ボランティア登録者は個人30名、団体1団体で、今のところ主に団体の活動が多く、施設の慰問等を行っておりますが、これら個人、団体の活動を活発化し、いろいろな制度だけでは、解決することのできないニーズに對しきめ細かなサービスの提供ができるよう、需給調整を図りながら活動を進めるため、活動の拠点としてボランティアセンターを設置しました。

又、活動を進めるにあたり先進地である児玉郡上里町ボランティアセンターを訪問し、会員の視察研修を行いました。

上里町の、コーディネーターの方から、活動状況とボランティアの必要性などについてきめ細かなご指導をいただき、会員の資質向上を図りました。

お話しを伺う中で、先進地といわれるだけあり、巾広い活動の様子がわかりました。

そして、あまりむずかしく考えず、自分にできることから始めることだそうです。

参加いただいた皆さんも、良い研修ができてよかったです。ということで、なにもわからない

かつたところに少し明かりが見えてきたような気がする。という感想を伺いました。

これからの地域福祉を担うのはボランティアであるということから、今後の活動が大いに期待されることです。

今回は、会長さんのご挨拶と研修会に参加いただいた方の感想と活動に対する抱負を伺いました。

◎ボランティア発足について

会長 宮崎 清子

ボランティア講座修了者があつまり、五月に連絡会が発足しました。私も元気なうちに人さまのために役立ちたいとワンパターンな発想ですがお仲間に入れてもらいました。やがてわが国もピーク時には約4人にひとりが高齢者となる超高齢社会を迎えようとしています。私たちの福祉に對する関心もたしかに強まってきました。尋常な決意でもなく二十世紀を迎えることもできないことがわかってきたのです。といって一部の専門家や関係者だけで福祉を担いきることはできません、住民のすべてが、それぞれ何ら

かの意味で福祉にかかわって はじめて、その「町」はできあがるのです。

家族間、地域社会における扶助機能が低下している現代では豊かな福祉社会づくりに欠かせないのがボランティア活動です。今日ではボランティア活動に對するみなさんの意識も高まり活動内容も多様化しています。滑川町でも調査など準備段階でしたが、考えてばかりいなくてまず行動。とにかく一歩を踏み出すことにしました。施設ボランティア、在宅ボランティア、運転ボランティアなどにわかれお手伝いいたします。また朗読ボランティアが町広報などにも思っております。

○無理をせず自然体で○してあげるのではなく、させていただく

感謝の気持ちです。ゆきたいて思っております。町民のみなさまのご協力をいただき「福祉の町滑川」とみんなが誇りをもてるような町にしようではありませんか。

◎自分の楽しみは自分でつくるもの

市原ゆみ子

先日、ボランティア活動が活発な、上里町の老人福祉センターを見学させて頂きました。まあ、なんと驚ろいた事に、老人達が華麗にダンスを踊っているではありませんか、ビックリしました。そこで、参加している方達に、話を伺いました。やはり自分の楽しみは、自分でつくるもの。私なりに解釈させて頂きました。我が町もようやく歩き始めたところ、行政、ボランティア会員、地域住民と一体となって、ふれあいのある暖かい福祉の町づくりをして行きたいものです。

現在、民踊クラブと日赤奉仕団の方が活動しているようです。私達も、会員を募り、少しでも早く活動できたらと思っています。

貴方もぜひ、ボランティア会員になって、地域の人々と交流を持って、充実した人生を一緒に送って見ようではありませんか。

◎ボランティアについて

井上奈保子

「ボランティアは成り立たない、地域の福祉は成り立たない、ボランティアの手によって支えられているのですよ」との或る町のボランティア事務局の人の話を聞いた。ボランティアの存在の大切さを知ると共に自分も、これからいかに参加出来るのだろうかと考え、以前、某施設でおばあちゃんにお風呂で背中を流してあげた時に「あ、さっぱりした、気持ちがいいよ」と、ふと耳にした言葉、こんな事

◀会員研修



で喜こばれるなんて、少々照れくささを感じたことがあったことを思い出した。小さなお子さん、若者、老若男女、誰れでも、何時でも、その気持ちさえあれば出来ること、どんな小さな事でも相手に喜ばれ、自分でもやって良かったなあと感じる時、あなたはしあわせに思いませんか：あなたのわずかな時間を今必要としている人に何かの形でわけてあげてはいかがですか、さあ少しづつはじめてみましょう。

日赤奉仕団 服部政子

先進地上里町をボランティアの一員として視察し、その実態をコーディネーターの方から事細かに説明を聞き、総ての団体が協力してボランティアに取り組んでいる姿をまのあたりにし、目を見張るものがありました。次に日赤奉仕団と民踊クラブの奉仕活動について紹介します。

昨年の四月より月に一度各班別に分かれ珠美園慰問を行って居ます。一緒に踊ったり、歌ったり、時には貼絵や陶芸などしてひと、きを過します。又秋の運動会にはいろいろ

ボランティアってなに？

ボランティアとは、いろいろな意味があるようですが、わが国では「自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献する行為」を指し、活動の性格として一般的に「自主性」「社会性」「無償性」等があげられています。

ボランティア活動って？

ボランティア活動は、いろいろな制度だけでは解決することのできないニーズに對して、きめ細かなサービスを提供し、ボランティアの人格的

四月のお花見会には車イスを押して森林公園に行き、満開の桜の下に宴を張り踊りを披露し、昼食の介助をしながら老人と語り合い非常に喜んで戴き意義ある一日を過ごしました。こうした尊い体験を基にこれからも奉仕活動を続けて行きたいと思えます。

なふれあいによって、住みよい街づくりをすることにあります。

実際にボランティア活動をはじめると、大切なことは相手の立場で、相手のことを考える気持が必要です。

ボランティア活動は、自分を生かしながら、人のために力になりたい、という気持ちがあれば、だれにでもできます。

- 活動を大きく分類すると次のように分けられます。
- ①人として助けあい励まし合う活動。
 - ②心と心のふれあいを大切にする活動。
 - ③地域の中でお互いに支え合う活動。
 - ④国際社会の一員として協力する活動。

これらをおまえ、自分にできることから始めることが大切なことと思います。

ボランティア活動に、すこしでも関心のある方、これからボランティアをしてみたい方ご連絡下さい。

でんわ 56-6345まで